

## 彦根市教育委員会会議録

会議の日	令和6年9月26日(木)
会議場所	彦根市役所本庁舎5-1会議室、5-2会議室
出席委員等 5人中 5人出席	教育長 西嶋 良年 教育長職務代理者 本田 啓子 委員 小松 照明 委員 永濱 隆 委員 田附 孝子
出席職員 (説明員)	教育部長 小島 久喜 教育部次長(教育総務課長) 清水 智子 子ども未来部次長(幼児課長) 前川 昌敏 副参事(博物館副館長、学芸史料課長) 渡辺 恒一 学校教育課長 東野 了賢 学校教育課主幹 井上 崇子 学校ICT推進課長 北川 尚樹 学校支援・人権・いじめ対策課長 小磯 浩司 生涯学習課長 小椋 朋子 生涯学習課主幹 川添 義夫 博物館管理課長 林 善和 教育研究所長 清水 貴博 学校給食センター所長 今井 和宏 図書館長 田中 淑介 図書館主幹 谷村 雅史 新図書館整備推進室長 鈴木 康浩 広野教育集会所長 中江 淳展
会議次第	
1 開会	午後1時30分
2 議題	内容 なし(報告事項等のみ)
3 その他	内容 別添のとおり
4 閉会	午後2時30分



## 1 開 会

教育長 ただ今から教育委員会会議を開会します。

本日提案している議題は、ございません。

本日の議事の進行につきましては、「教育長報告」のあと、5件の報告事項を説明させていただきます。その後、「次第 4 各所属の取組事項について」の質疑を行い、「次第 5 その他」で教育委員会の所管事項について、委員からのご質問をいただきます。

本日の議事進行につきまして、ご異議はありませんか。

各委員 なし。

教育長 それでは、私から「教育長報告」をさせていただきます。

8月26日月曜日、9月定例校長会議をWeb会議形式で行い、出席しました。また、第1回いじめ問題調査委員会を本庁で開催し、出席をしました。

8月30日金曜日、彦根市教育支援教室「オアシス」運営委員会を本庁で開催し、出席をしました。

9月2日月曜日、9月市議会が開会しましたので、自席で傍聴をしました。

9月8日日曜日、第74回社会を明るくする運動・青少年健全育成彦根市大会が、ひこね市文化プラザで開催されましたので、出席をしました。

9月9日月曜日から12日木曜日にかけて、市議会の代表質問・個人質問が行われましたので、出席をしました。

9月15日日曜日、第71回彦根市美術展覧会入賞者表彰式が、ひこね市文化プラザで開催されましたので、参加をしました。

9月17日火曜日、予算常任委員会が開催されましたので、出席をしました。

9月20日金曜日、福祉病院教育常任委員会が開催されましたので、出席をしました。

9月25日水曜日、本会議が開催され、追加議案が上程されましたので、自席で傍聴をしました。

9月26日木曜日、9月の教育委員会会議となっています。

報告は以上です。何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

各委員 なし。

## 2 前回会議録の承認

### 3 報告事項

教育長 次第3「報告事項」に入らせていただきます。

「令和6年9月市議会定例会について」報告をお願いします。

教育部次長から報告がありました。

教育長 次に「彦根市立学校用務員業務公募型プロポーザルの実施について」報告をお願いします。

教育総務課長から報告がありました。

田附委員 98ページの(3)業務内容で、別紙1「彦根市立学校用務員業務委託仕様書」と記載がありますが、これは資料として付いていますか。見当たらないようなので、用務員の業務内容がどのようなものか、知りたいです。

教育総務課長 この会議資料には添付しておりませんので、また追ってお示しします。

田附委員 主な業務内容で、環境整備は入っていますか。

教育総務課長 学校用務員の業務としては、学校教育法施行規則により、学校の環境整備その他の業務に従事するとありますので、主な業務になると考えています。

田附委員 学校を見ていると、草とか木が生い茂っているところもあります。子どもたちにとって、学校の学習環境はすごく大事だと思いますので、実施されていると思いますが、その業務内容を誰かが推進したり、見て確認している人がいるのか、お聞きしたいです。

教育総務課長 委託業務の特性で、学校の管理職から直接指示をすることができない形になりますので、業者の方で現場を巡回する立場の方を配置して、その方を通じて、各学校に配置された用務員に指示を出すような形になります。現場の学校から教育総務課に連絡をもらった際には、その方に連絡をとって、調整を図るためにその方に回っていただくというような形になると考えています。その中で、改めて指示を出していくことになります。

教育部長 仕様書の中には、学校敷地内の除草と樹木の剪定、ただし中低木になりますが、業務の中に入っていますので、適宜、夏休み期間中とか運動会の時期などに合わせて、雑草等の繁茂がないように除草等をしてもらうようにしています。

田附委員 学校によっては、かなり草が生えたり、木が生い茂っていても、それが綺麗になっていないところもありますので、やはり子どもの学習環境を整えること大事なことだと思います。

すので、教育委員会からもそういうことを話してもらえるとありがたいなと思います。

教育長 学校の環境整備状況について、また事務局の方で確認をお願いしたいと思います。

小松委員 1点目は、対象校に城西小学校と中央中学校が除かれているのはどういうことですか。

もう1点は、このプロポーザルに応募してくる業者というのは、人材派遣に関する会社とかそういう系統の会社になるのですか。今現在受託している会社は、どういうタイプの会社なのですか。また、1社が22校全部を受け持つのですか。22校を例えば2社で分けるとか、そのような可能性もあるのですか。

教育総務課長 まず1点目の2校を除くことにつきましては、従来の正規職員が在職中の学校についてはそのまま配置しているという状況で、随時委託に切り換えていくという形にしています。次に、22校を全部受け持つのかということですが、今想定しているのは、すべての学校を1社に委託する形で考えています。どういった業者かということですが、現行契約の相手方は株式会社技研サービスという会社で、主にビルメンテナンス、公共施設の管理運営など、施設管理の業務を行われています。官公庁を中心に事業展開されている事業者で、他市においても用務員業務の受託実績がある会社です。

教育長 次に「彦根市外国語指導助手派遣事業公募型プロポーザルの実施について」報告をお願いします。

学校教育課主幹から報告がありました。

教育長 次に「彦根城博物館リニューアル改修工事に伴う長期休館について」報告をお願いします。

彦根城博物館管理課長から報告がありました。

小松委員 この休館期間ですが、11月5日から11月22日というと、秋の行楽シーズンで来館者が非常に多いと思います。普通、こういう工事をする時は、閑散期というかお客さんが一番少ない時にこういう工事をするのが当たり前ではないかなと思います。一番お客さんの多い期間にわざわざ休館するのはどうかと。例えば今年度予算でどうしてもやらないといけないのであれば、この11月の期間を1月に持ってきて、お客さんが多い11月は開けると。そういうふうを考えるのは当然だと思うのですが、この一番お客さんが多い11月に設定された理由を聞きたいです。

彦根城博物館管理課長 確かに委員のおっしゃる通りだとは思いますが、今回、国の補助金を利用して実施しています。1つのプログラムの中のリニューアル計画という形で、改修工事を行っているのですが、今回の基本計画は令和3年度に出させてもらいまして、令和3年度から令和7年度までの5年間でもらう補助金であるというところがあります。昨年度もスライディングウォールの改修工事をしましたが、今回はどうしてもホールから一体的なところが大きな工事になってきますので、こちらの方は、建築課に工事の委託をして入札をしてもらっているのですが、そこからの工事期間というのが、今年度中にやらなければこの補助金をもらえないということで、逆算して工事期間等を考えると、11月というのが入札等も含めながら、そこしかできなかつたというのが正直なところです。

教育長 次に「彦根市立小学校における給食調理業務委託事業者選定に係る公募型プロポーザルの実施について」報告をお願いします。

学校給食センター所長から報告がありました。

小松委員 2点教えて欲しいのですが、1点目は今回この4校の委託業務で、給食調理業務は全校で委託化になり、直営でやっているところがもうなくなるのか、教えて欲しいです。2点目は、直営のままか今回のように業務委託するのか、費用面を考えたらどれぐらい、例えば何割ぐらい市の持ち出しが減るのか、この委託化の方が有効で、金額的にも何割ぐらい安くなるのか、財政的な効果がわかれば教えてもらいたいです。

学校給食センター所長 直営はこれでなくなるのかという質問をいただきましたが、委託が全体17校中16校ということで、若葉小学校が1校残っています。今回の委託業務の募集に関しても若葉小学校は入っていませんので、引き続き若葉小学校は、直営で1校だけ残ることになります。理由は、先ほどの用務員のケースと同じで、若葉小学校に直営の職員を置いて、事業を実施することになっています。それから、直営と委託の費用対効果ですが、具体的な直営の職員の給与については、学校給食センターでは把握していないので答えにくいのですが、実際の運用面に関して、委託事業者になりますと、幅広く人材をいろいろなところで展開している関係上、何か市内の学校で欠員等が生じたとしても、他の学校もしくは他市町にいたる委託事業者の担当者が彦根市に応援に駆けつけられるとか、そういった人材派遣面においてかなり有利です。また、専門的な知識の部分ですが、会社で一律研修とかをされていて、全国的にいろいろな事例等も把握されて、それを各学校にフィードバックすることもありま

す。直営だとどうしても彦根市だけに限られているところが、全国的な情報であるとか人材とかという部分で有利であると聞き及んでいます。

永瀆委員 最後に若葉小学校だけが残っているということですが、職員の定年のタイミングだとは思いますが、予想としては何年後ぐらいにこのプロポーザルに入る予定でしょうか。

教育総務課長 現在の在籍者の状況では、令和 12 年度末で定年を迎えることから、正規職員がなくなるという形です。

永瀆委員 各小学校での人数というのが小学校の規模によって違うと思うのですが、令和 12 年度末というのは、同時に複数名が退職されるのでしょうか。一人一人退職年度が違えば、臨時でパートを雇われるとか、重要な問題ではないかもしれませんが。

教育総務課長 全員が同じ年齢ではありませんので、一斉に退職ということではないのですが、手元に資料がないので、具体的な退職の人数がわからず、お答えできません。

教育部長 令和 12 年度に最後の正規の調理員が退職するというところで、それまでの間は、若葉小学校では 4 人程度で調理業務をされているかと思うのですが、残りの 3 人は正規ではない会計年度任用職員や再雇用の方を雇用して、令和 12 年度以降に民間委託に切り換えていくこととなります。

永瀆委員 小松委員が先ほど質問された費用対効果というか削減効果については、実例を聞かせてもらいたいと思っているので、また機会があれば、そのデータ等を教えてもらいたいと思います。

教育長 コストの削減等について、また後日、資料の提示をお願いします。

#### 4 各所属の取組事項について

永瀆委員 学校教育課にお尋ねします。小中学校働き方改革推進チーム会議について、1 回目なので挨拶がメインだと思うのですが、具体的に何か議題があったり、討論されたことがあったのでしょうか。

学校教育課長 メンバーが初めて招集となりましたので、自己紹介等の時間もありましたが、すでに何年も取り組んできていますので、それぞれの学校あるいはそれぞれの職から見た働き方改革の推進状況について、特に令和 5 年 11 月から新たな取り組み 7 つを展開していますので、今回は、学校現場でどのような効果があるのか、影響があるのかということを中心に発言し共有してもらいました。もう 1 点は、各学校に特色を生かした取り組みの展開をお

願っていましたので、報告をもらって、これからの実践の参考となるように、会議を持ったところです。

永瀆委員 それぞれの内容について、ある程度の区切りで改善点と効果が出た時に、見せてもらいたいと思います。実際にどういう会議をされて、どういう問題点があるのかというのも知らせて欲しいです。

学校教育課長 この後の教育委員会協議会で、働き方改革についての進捗状況の報告をする中で、資料を示したいと思います。

田附委員 学校 ICT 推進課です。学校に 3D プリンターとかドローンを設置されていますが、その活用状況はどうか、教えてください。

学校 ICT 推進課長 今年 5 月に開催されました、県都市教育委員会連絡協議会定期総会の中で、各市の教育長、教育委員に講演した時に、少し取り組みについてお話しましたが、今回の総合教育会議の中でも、GIGA スクール構想の現状ということでお伝えする予定です。その中で、3D プリンターあるいはドローンについては、実際、各教科あるいは防災教育等で学習された発展的な学習として、今度はプログラミングを活用して、障害物をよけながら災害、救助の他、例えば土砂災害等があった時に、被災地にドローンを飛ばすといったことを想定して、子どもたちが実際そのプログラミングをもとにドローンを飛ばすような、学習展開をしているところです。また後ほど、教育委員会協議会で少し触れたいと思います。

小松委員 生涯学習課です。コミュニティ・スクール推進事業に関わる各学校運営協議会への支援ですが、資料の一番最後に、小中学校のコミュニティ・スクールの資料をつけてもらっていて、非常に活発に活動してもらっていると感じています。まだ始まったところもあると思うのですが、全小中学校にコミュニティ・スクールを広げるために、何か見えてきた課題とかがあれば教えて欲しいです。今のところ予定通り順調に進んでいるというのであれば、このまま進めてもらったらよいと思います。何か各学校によるばらつきとか課題とか、見えてきたところがあれば、教えて欲しいです。

生涯学習課主幹 昨日までに学校運営協議会について、小学校 7 校、中学校 3 校の計 10 校に参加しています。また、地域学校協働活動については、2 中学校の活動の様子を視察しています。その中で、改善への働きかけが必要と思われることですが、1 点目は会長や副会長との打ち合わせが不十分のまま会議を開くなど、会の運営方法や会議についての共有や検討が不足している学校が見受けられました。2 点目は、この学校運営協議会の中で一番重要となっ

ている「熟議」の進め方や、地域学校協働活動推進員の役割について、十分理解が図られていないと見受けられる学校がありました。例えば、1学期の学校評価や保護者アンケートの結果を丸ごと当日の配付資料にして配付されたりしたことで、「熟議」の時間が、学校評価委員会のように、学校に対する質問や意見を各委員が言われるだけの時間になってしまった学校もありました。学校や子どもの課題を解決する「熟議」を実りあるものにしていくためには、やはり当事者意識を高めたりとか焦点化をしたりすることが必要ではないかと感じています。また、そういった当事者意識を持って「熟議」をしていくための工夫について、例えば東中学校では、委員以外の出席ということで生徒会役員が会議の中に出席して、グループに分かれて委員と意見を交わしたり、南中学校では、「熟議」の前にそのテーマに応じた講演の時間を設けたり、城南小学校では、学校管理運営計画を拡大した用紙の上に、ワークショップで使う KJ 法などを用いて付箋を貼って、学校教育目標を常に意識化して具体的な方策を整理できるようにされていたりとか、そういった工夫をしている学校もありますので、そのような学校をホームページであったりとか、各公民館での掲示物等で広く広報したりして、皆さんに周知をしていきながら、最初に説明した課題の解決をしていきたいと考えています。

教育長 生涯学習課として、7小学校3中学校の学校運営協議会を視察したということですが、この年度の後半に入る前に、残りの14校について、どういうことを考えているのかということをお教えください。

生涯学習課主幹 残りの14校について、現在、これまでと同様に当課の職員が各学校の運営協議会に参加し、各学校に必要な伴走支援をしていくという方向性は従来と変わらないものと考えています。また、11月には地域学校協働活動推進員の研修会を設けて、そこに地域学校協働活動推進委員および学校運営協議会委員や教職員にも参加してもらえるような会にして、その中で今ほどの課題であるとか、より実りある学校運営協議会にするための方策等について、研修をして高めてもらうということを考えているところです。

教育長 キーとなる活動において、より改善が進んでいく、先進的な取り組みができるように期待していますので、よろしくをお願いします。

永瀆委員 コミュニティ・スクールのことですが、これは私たちが傍聴というのはできるのですか。

生涯学習課主幹 傍聴については可能です。各学校に地域住民の方として申し出てもらうという形が一般的かと思えます。また、教育委員としての参加ですと、生涯学習課が間に入れて

もらって、学校と調整することは可能です。

本田職務代理者 今年の夏に西中学校のラジオ体操会に参加したのですが、去年と違って、子どもたちが主体的に取り組むというのはすごく微笑ましいというか、子どもたちの中で自分たちの学校、そして地域のいろいろな人にお世話になっているということを知る機会にもなって、だんだん根づいていくとよいなと思いました。大人だけではなく、生徒会の役員が参加するというのもよいですが、やはり子どもたちの姿が見えるような方向に行くと、参加される大人の方もうれしいみたいで、充実感というか達成感とかもあるみたいで、すごくよい時間でした。感想です。

## 5 その他

各委員 なし。

教育長 以上で本日の会議を閉会します。

10月の会議は、10月24日木曜日、午後1時30分から本庁舎5階5-1、5-2会議室で開催します。皆さんお疲れ様でした。